

山行報告書		千葉県勤労者山岳連盟所属		報告者	柘植秀樹
		ちば山の会		報告日	2005年5月8日
山域	南会津	ルート	会津朝日岳～会津駒ケ岳		
山行形態:	縦走				
参加者名				登山口までの交通手段と時間など:	
CL	柘植秀樹	橋本丈夫	池田愛一郎	ちば山事務所20:50⇒0:30みちの駅たじま(仮眠)5:50⇒いわなの里	
SL	長池康雄	小俣順子	多田望		
行動記録	月日	天候	ルート概要及び時間		
	第1日 4/30	晴れ	いわなの里8:10→13:05熊ノ平避難小屋(泊)		
	第2日 5/1	晴れ	避難小屋5:05→5:50会津朝日岳6:25→10:30大幽朝日岳10:40→15:50丸山岳肩(泊)		
	第3日 5/2	雨→曇	丸山岳の肩11:15→梵天岳13:50→15:40高幽山(泊)		
	第4日 5/3	晴れ	高幽山5:25→8:23坪入山→10:04窓明山→11:43三岩岳12:00→15:05会津駒ケ岳15:15→15:25幕場(泊)		
	第5日 5/4	晴れ	幕場7:10→9:20駒ケ岳登山口		
報告	<p>4/30: いわなの里から赤倉沢をつめる。沢は右岸の急斜面から押し寄せたデブリで一杯だ。またときどき熊の足跡もみえてなかなかワイルドな雰囲気だ。かなり本流をつめたところから右手の尾根に取り付く。ここは上部がかなり急で全員ストックからピッケルに持ち帰る。やがて叶の高手に到着。ここからは目指す会津朝日岳がよく見える。40分ほどで熊の平避難小屋に到着。快適な小屋で初日の疲れをいやす。</p> <p>5/1: 小屋から朝日岳までは結構急斜面なので一応アイゼンをつけて登る。山頂からは会津や越後の山々が一望できる。またこれから目指す丸山岳方面には鋸刃の尾根。鋸刃は雪が中途半端に残って結構いやらしい。慎重に通過すると今度はモロヤブ。これが高幽山の先まで延々と続き、全員ゲンナリ。柘植は途中でアイゼンを片方失くしてしまった。丸山岳がかなり近づいたところによりやくヤブから開放される。時間も遅くなったので、丸山岳の肩といえるところに幕営。</p> <p>5/2: 前夜から降り出した雨が止まないため、午前半停。11ごろ雨も止んだので少しでも行程を進めるために出発する。はじめはガスが深かったが、すぐに晴れて丸山岳では広大な展望がえられた。さすがに会津でも奥深い丸山岳はずばらしい。ここから先はだだっ広い尾根が続くので、方向を慎重に見定める。橋本さん持参のGPSが心強い。このような地形の縦走ではGPSは必携と感じる。安心感がぜんぜん違う。4時間少し歩くと高幽山を降りたところに快適な幕場をみつけた。</p> <p>5/3: 朝から快晴。今日は会津駒ケ岳まで行く気合で出発する。部分的に急で細い雪稜が出てきたりするが、全般には快適な縦走路で、周囲の景色もすばらしい。右手には浅草岳・守門山・毛猛山・未文が岳・越後三山など。正面には平が岳から至仏山・上州武尊山・ヒウチ、左手には日光の山々から那須連山。坪入山の登りで初めて人に会おう。窓明山から三岩岳へ進むと次第に行き交う人も増えてくる。会津駒から三岩岳、あるいはもう少し足を伸ばして窓明山から桧枝岐方面に下山するパーティーが多いようだ。三岩岳まで来ると、もうゴールの会津駒は目前。くさった雪にときどきはまり込みながら、15時すぎに待望の会津駒ケ岳に到着。小屋でビールを買い込んで、少し下った樹林の中に幕営。この夜ははじめて下界の明かりを目にした。</p> <p>5/4: 柘植と多田の2名がいわなの里ちかくに置いた車回収のために先行して下山。1時間15分ほどで国道に飛び出した。タクシーに乗り、いわなの里手前で車を回収。戻るとみんながテントを干して待って</p>				
	ヒヤリハット、気付いた点、皆に伝えたいこと、感想など・・・				